シ ラ バ ス

科 目 名	地理総合	単位数	2 単位	学年・学科	1学年 全学科	展開	必修 ・ 選択
教科書名	高等学校 改訂版地理総合 世界を学び、地域をつくる(第一学習社)			副教材名	新詳高等地図（帝国書院）		

科 目 の 目 標	地理学習において主体的・対話的で深い学びを実現するために、会的諸事象の地理的な見方・考え方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し、その課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化が進み国際理解の必要性が増している現代において主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。
学習内容と進め方	地理に関わる事象の意味や意義、地理的特色や相互の関連性・位置や分布、人間と自然環境の関係を学習する。 教科書とプリント、問題集を利用した学習を中心として行う。内容によってグループでの課題解決学習も行う。
学 習 の 留 意 点	（1）常に復習し、反復練習によって、問題を解く力を身につけさせる。 （2）課題解決学習に取り組み、考察を深めさせる。

月	単元	予定時数	具体的な学習内容	評価の観点 1	2	3	備考（評価項目）
4	第１編　１章　地図や地理情報システムと現代世界 １節 球面上の世界と地図 ①地球上の位置　②世界の時差 ③世界地図の見方・使い方 ④地図があらわす情報 ⑤デジタル化された地図 ⑥地理情報システムの活用	6	位置の基準～地球上の緯度と経度 時間の基準～時差と標準時 様々な地図のメリットとデメリット インターネットを利用し、Web地図にアクセスする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	・地球上の位置情報の基礎として、球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解する。 ・地球儀と地図それぞれの特色を理解し、日常生活面で適切に使い分ける。 ・生活面で地図を活用する技能を身につけ、世界各地の位置や時差を理解する。
5	２節 国家の結びつきとグローバル化 ①国家と国境 ②日本の領域と様々な領土問題 ③国家を超えた結びつき ④交通・通信の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信の発達と一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき	6	国家とその領域 変えてきた日本の位置 交通・通信による結びつき 貿易・物流による結びつき 観光による結びつき	○	○	○	・社会の変化や諸課題を、地図や地理情報システムなどを用いて、国家の領域や国境、日本の位置や領域、世界各地の結びつきなどに着目して多面的・多角的に考察する。 ・地図帳や地球儀、統計などの資料から、地理的な情報を適切に読み取る。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、地理的な情報を効果的にまとめる。
6	第２編　国際理解と国際協力 １章　生活・文化の多様性と国際理解 １節 生活・文化の舞台となる地形 ①世界的視野からみた地形 ②河川がつくる地形と人々の生活 ③様々な海岸の地形と人々の生活 ２節 人々の生活を与える気候 ①世界的視野からみた気候 ②熱帯・乾燥帯地域の生活 ③温帯地域の生活 ④冷帯・寒帯地域の生活	8	ケッペンの気候区分 気候の地域性 農業・工業・サービス業の発展と生活文化	○ ○ ○	○ ○ ○	○	・地球儀、統計資料などを通して、地理的な視点から移動や情報、資源、人口などの分布や結びつきを、気候の面からとらえる。 ・世界各地の人々の生活と自然環境との関係に着目して、地域的特色を大きく異なる気候帯ごとに、どのような特徴があるのかを学ぶ。 ・世界の気候帯ごとに、どのような生活が営まれているのかを学ぶ。
9	３節 「衣」「食」「住」から見た世界 ①自然環境と衣服　②社会環境と衣服 ③「衣」のグローバル化 ４節 「食」から見た世界 ①食の地域性　②「食べまの多様性」 ③食べ物の伝播　④さまざまな農業形態 ⑤「食」のグローバル化 ５節 「住」から見た世界 ①世界の人々の住み方 ②住居と素材　③社会の変化と「住」 ④暮らしと生業 ６節 暮らしを支える産業 ①産業の発展と変化 ②自動車産業と私たちの生活 ③ICT産業と私たちの生活 ④地場産業とグローバル化	8	生活文化の多様性	○	○	○	・多様な生活文化や地域性を持つ世界の人々の生活文化について、他者の文化にも目を向けようとしたり、自らの文化を知ることの大切さについて考えたりしている。
10	７節 世界の言語・宗教と人々の生活 ①言語と生活 ②世界の宗教 ③宗教と人々の生活　④生活の中の宗教 ８節 多文化共生に向けて ①多様性に富んだ世界の人々との共生	8	環境問題と持続可能な社会 世界各地の人口問題 食料問題の背景と解決策	○	○	○	・地球的課題の相互の関連や、それらの地域的な広がりについて、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から適切に情報を収集し、読み取ったりまとめたりしている。 ・地球的課題の解決に向けて、地理的な見方・考え方を働かせ、課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりしている。
11	２章　地球的課題と国際協力 １節 持続可能な開発目標（SDGs） ①持続可能な開発と地理的な側面 ②地球的課題の地理的な側面 ２節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて ①貧困問題　②人口問題　③食料問題 ④持続可能な水の利用 ⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題 ３節 自然と調和した豊かな社会に向けて ①持続可能な産業化　②限りある資源 ③エネルギー問題　④都市・居住問題	8	鉱物資源・エネルギー資源とその課題 資源のリサイクル・再生可能エネルギー 居住・都市問題と都市計画 国境を越える汚染 気候変動とその対策	○ ○	○	○	・地球的課題について、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から適切に情報を収集し、読み取ったりまとめたりしている。 ・地球的課題の解決に向けて、地理的な見方・考え方を働かせ、課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりしている。
12	４節 現役世代と将来世代のための地球 ①地球温暖化問題　②陸地の環境問題 ③海洋の環境問題 ５節 平和で公正な社会に向けて ①世界の民族・文化と紛争 ②世界のさまざまな対立の解決に向けて ③国際協力と持続可能な開発 ④国際協力のあり方	7	変動帯とプレート 火山の噴火と防災、地震・津波と防災 防災への心構え	○ ○ ○	○ ○ ○	○	・地球的課題について、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から適切に情報を収集し、読み取ったりまとめたりしている。 ・地球的課題の解決に向けて、地理的な見方・考え方を働かせ、課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりしている。
1～3	第３編　自然環境と地域づくりと私達 １章　自然環境と防災 １節 人々の暮らしを取り巻く自然環境 ①自然環境と人々の生活 ②日本の地形と気候 ２節 変動帯と防災 ①プレート境界と地震と防災 ②活断層と地震災害と防災 ③火山と災害と防災 ④火山と人々の生活 ３節 湿潤地域の災害 ①雨にまつわる災害 ②大雨による災害への備え ４節 自然災害への備え ①私たちと防災 ２章　生活圏の調査と地域の展望 ①地域調査の方法	12	自然災害と防災 日本の気候 プレート境界と地震と防災 活断層と地震災害と防災 火山と災害と防災 自然と防災 雨にまつわる災害への備え 防災への備え	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	・地球的課題について、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から適切に情報を収集し、読み取ったりまとめたりしている。 ・地球的課題の解決に向けて、地理的な見方・考え方を働かせ、課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりしている。

評価方法	（1）評価の観点は下記の表の通りとする。 （2）具体的には定期考査、小テスト、提出物、授業への参加態度等を総合して判断する。

	観 点	趣 旨
評価の観点	1知識・技能	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的にしらべまとめる技能を身に付けている。
	2思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
	3主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
評価基準	1知識・技能	A　基本的な概念や知識を体系的に理解している。 B　基本的な概念や知識を体系的に概ね理解している。 C　基本的な概念や知識を体系的に理解が不十分である。
	2思考・判断・表現	A　論理的に考察する力、本質を捉える力、理解した知識を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。 B　論理的に考察する力、本質を捉える力、理解した知識を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を最低限身につけている。 C　論理的に考察する力、本質を捉える力、理解した知識を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけていない。
	3主体的に学習に取り組む態度	A　社会や世界と関わるために、積極的に地理的知識を活用しようとしたり、粘り強く考えられる。 B　社会や世界と関わるために、積極的に地理的知識を活用しようとしたり、粘り強く考えたりしようとしている。 C　地理的知識を活用しようとしたり、粘り強く考えたりしようとできない。